



第80期 第2四半期株主報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで



西部電機株式会社

株主の皆様へ

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第80期第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

平成24年12月



取締役社長 木村 稔

商品力の向上と販売力の強化で 安定成長を目指します。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要がありましたものの、長期化する欧州の債務問題や円高に加え、世界経済の減速などの懸念材料を抱え、先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢の中で、当社グループは「商品力の向上」ならびに「販売力の強化」によって、安定成長を実現すべく、全社を挙げて努力してまいりました。その結果、当社グループの連結業績は、搬送機械事業での大口物件の成約があり、受注高は82億6千8百万円(前年同期比 13.3%増)となりました。しかしながら、売上高は納期が下期にずれ込んだことや比較的長い納期の物件が増加したことなどから、56億4千6百万円(前年同期比 10.9%減)となりました。また、損益においては、経常利益は8千万円(前年同期比 42.0%減)、四半期純利益は2千7百万円(前年同期比 25.1%減)となりました。

当社グループといたしましては、中期経営計画「SAP12」の最終年度であり、どのような環境下でありましても「商品力の向上」、「販売力の強化」によって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜く所存であります。さらには、コストダウンや経費削減に一層注力し、企業体質の強化と着実な安定成長の確保に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

通期の見通し

売上高

15,800百万円
前期比10.7%増

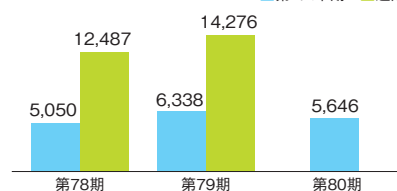
経常利益

1,030百万円
前期比27.0%増

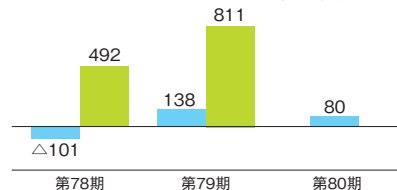
当期純利益

500百万円
前期比72.1%増

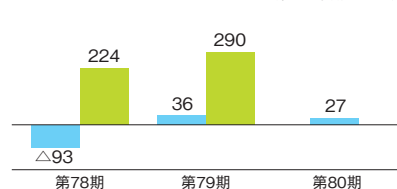
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



四半期(当期)純利益 (百万円)



TOPICS

トピックス

搬送機械事業

国際物流総合展2012 LOGIS-TECH TOKYO 2012に出展

『ロジスティクスの新たなステージへの挑戦～人・社会・地球のために～』をテーマに、国際物流総合展2012が開催されました。今回は第10回の記念大会で、当社は第1回から出展を続けており、10回連続出展企業として表彰を受けました。

今回出展した「マルチソーティングRIO」は、「コンパクト」「多機能」「高能力」「省エネ」をコンセプトに開発した、ケース自動倉庫RIOを中心としたピッキングソリューションです。この商品は次世代主流となる二次電池を搭載しており、クリーンかつ静音運転で環境に優しく、お客様に大きな反響をいただきました。

展示会では、俊敏な動作で高能力、次世代新技術の省エネをPRL、お客様からも具体的な質問をいただくなど、非常に手応えのある展示会でした。

既に、展示品の受注も具体化しており、さらに今後の受注活動に邁進してまいります。



会 期

平成24年9月11日(火)～9月14日(金)

会 場

東京ビッグサイト(東京国際展示場)

産業機械事業 産機部門

SEA JAPAN2012に出展

国内最大の国際海事展SEA JAPANは、船舶を中心とした海事業界に関するあらゆる会社が集結して行われる国際イベントです。特に今回は、過去最大規模となる世界30の国と地域から400社を超える出展社が参加されました。

当社ブースには国内外から多数の来場があり、過去にタンカーに搭載した実績や、小型軽量で省スペースである点、また、PROFIBUSでシステムを構成する事により、省人化、コストダウンが可能となる点など、非常に興味を持っていただく事ができました。

今後、船舶業界での拡販に繋げる足掛かりができました。



会 期

平成24年4月18日(水)～4月20日(金)

会 場

東京ビッグサイト(東京国際展示場)

産業機械事業 産機部門

協和発酵キリン株式会社殿へ納入(民需市場への拡販)

協和発酵キリン株式会社殿では、工場排水から汚染物質が流出しないように、厳しい管理体制がとられております。この排水経路に設置されている緊急遮断弁の駆動用として、電動アクチュエータ「Semflex®シリーズ」をご採用いただきました。従来の考え方では高速開閉が必要な場合は、エア式のアクチュエータを採用する事が多いのですが、最新機種の「Semflex®-A」では高速開閉が可能となり、また、世界最小であるコンパクト性を活かし、狭小空間への設置も可能となりました。

お客様からは機能面だけでなく、エア用設備が不要となるため、設備投資のコストを抑える事ができる面でも高い評価を得る事ができました。今回の導入事例を基に民需市場への拡販を推進してまいります。



産業機械事業 精密機械部門

インターモールド2012に SuperMM50A出展

今回は「SuperMM50A」を出展し、ピッチ精度±1μmの高精度をアピールするために、加工した3枚プレートをお客様に触っていただき、金型のジグ研削の感触を実感していただきました。

また、新たな試みとして「サーマルジャスト24」、「コア・ステッチ」、「ELコーティング」等の特殊機能の紹介を盛り込んだ動画を作成し、プレゼンを実施いたしました。

その効果もあり、今回の出展は集客も多く、知名度アップとブランド力の構築に貢献できました。

会 期

平成24年4月18日(水)～4月21日(土)

会 場

インテックス大阪



主要な事業別営業の概況

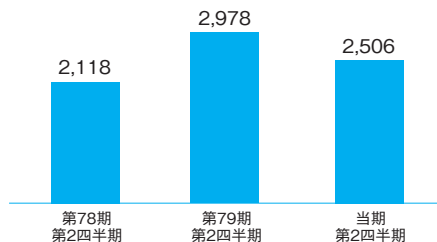
搬送機械事業

搬送機械事業では、既存顧客からのリピート受注、小型自動倉庫や製造業の生産・物流分野などに、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。

その結果、大手機械メーカーからの大口物件の成約もあり、受注高は43億7千7百万円(前年同期比 25.7%増)となりましたが、売上の一部が下期へずれ込んだこともあり、売上高は25億6百万円(前年同期比 15.8%減)となりました。

売上高

(百万円)



売上高

2,506百万円

前年同期比15.8%減

44.4%

ケースピッキングクレーン



自動車部品格納クレーン



マルチソーティングRIO



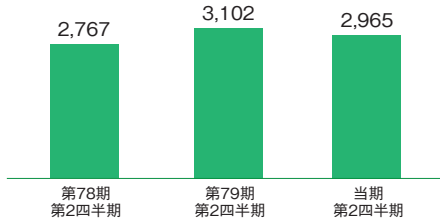
主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- ピースピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム

産業機械事業

売上高

(百万円)



産業機械事業の産機部門では、民間需要の掘り起こしや既存市場におけるシェアアップ、サービス・メンテナンスに注力してまいりました。また、精密機械部門では、既存顧客の更新需要や海外の新規商社の開拓に注力してまいりました。

その結果、受注高は37億1千6百万円(前年同期比4.8%増)となりましたが、比較的長い納期の受注が増加し、売上が下期へずれ込んだこともあり、売上高は29億6千5百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

52.5%

売上高

2,965百万円

前年同期比4.4%減

主要商品

産機部門

バルブアクチュエータ
ゲート駆動装置

精密機械部門

超精密・高精度ワイヤ放電加工機
高精度小形NC旋盤
高精度自由形状研削加工機
正面施盤

バルブアクチュエータ・プラント



ハイエンドタイプ SuperMM50A



大型電動ピンラック式ゲート駆動装置



ハイスピードローダ連結ライン



連結財務諸表(要約)

第2四半期連結貸借対照表

単位：百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科 目	第80期第2四半期	第79期
	平成24年9月30日	平成24年3月31日
資産の部		
流動資産	12,743	13,720
固定資産	10,687	11,077
有形固定資産	8,209	8,314
無形固定資産	17	18
投資その他の資産	2,460	2,744
資産合計	23,431	24,798
負債の部		
流動負債	5,286	6,305
固定負債	3,448	3,478
負債合計	8,735	9,783
純資産の部		
株主資本	11,397	11,401
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,616
利益剰余金	6,125	6,128
自己株式	△ 3	△ 2
その他の包括利益累計額	3,298	3,612
純資産合計	14,696	15,014
負債純資産合計	23,431	24,798

第2四半期連結損益計算書

単位：百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科 目	第80期第2四半期	第79期第2四半期
	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
売上高	5,646	6,338
売上原価	4,234	4,872
売上総利益	1,411	1,466
販売費及び一般管理費	1,350	1,332
営業利益	61	133
営業外収益	28	29
営業外費用	9	24
経常利益	80	138
特別利益	1	—
特別損失	50	28
税金等調整前四半期純利益	31	109
法人税、住民税及び事業税	15	18
法人税等調整額	△ 11	54
少数株主損益調整前四半期純利益	27	36
四半期純利益	27	36

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科 目	第80期第2四半期	第79期第2四半期
	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	345	763
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 35	△ 25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 65	△ 56
現金及び現金同等物の増減額	244	681
現金及び現金同等物の期首残高	5,312	3,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,557	4,272

会社の概況・株式の状況 (平成24年9月30日現在)

会社の概況

商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co.,Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	昭和14年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	394名(連結435名)

役員

取締役会長 (代表取締役)	吉住一成
取締役社長 (代表取締役)	木村 皷
専務取締役	宮地 敬四郎
常務取締役	藤岡 敬正
取締役	木谷 泰博
取締役	中里 晋也
取締役	税所 幸一
取締役	溝田 安彦
常勤監査役	大串 秀文
監査役	小西 正純
監査役	鬼頭 正雄

(注) 監査役小西正純、鬼頭正雄の両氏は社外監査役であります。

株式の状況

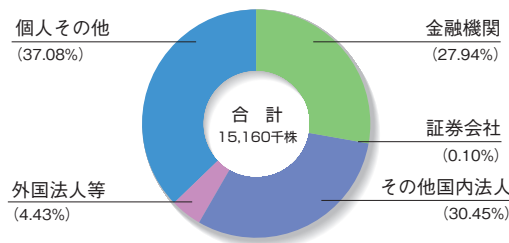
発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	1,484名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,297	8.56
株式会社豊田自動織機	1,106	7.29
CGML-IPB CUSTOMER COLLATERAL ACCOUNT	669	4.41
株式会社三菱東京UFJ銀行	650	4.29
株式会社福岡銀行	633	4.17
みずほ信託銀行株式会社	626	4.13
株式会社西日本シティ銀行	589	3.88
西部電機従業員持株会	404	2.67
村上 博	215	1.41

(注) 1. 持株比率は自己株式(8,517株)を控除して計算しております。
2. シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社から平成24年8月22日付で提出された大量保有報告書の変更報告書により、平成24年8月15日現在同社が1,884,000株(保有割合12.43%)を保有している旨の報告を受けております。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

所有者別分布状況



表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬溪流の四季をモチーフに『自然随順』を表現しております。当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品を作り、広く世界に貢献することを宣誓しています。

超精密とメカトロメーションを追求する

Seibu

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.seibudenki.co.jp/) に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

ホームページをリニューアルいたしました。
<http://www.seibudenki.co.jp/>

または、

西部電機

検索



	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
お問合せ先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店、プラネットブース（株式会社みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	支払明細発行については、右記の「特別口座の場合」のお問合せ先までご連絡ください。	「特別口座」では、単元株式の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。株券の電子化後に振替手続きを行っていない株主様は、上記のお問合せ先までご連絡ください。
	未払配当金のお支払については、みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店にてお取扱いいたします。(みずほインベスターズ証券株式会社では取次のみとなります。)	

※みずほインベスターズ証券は、2013（平成25）年1月4日以降はみずほ証券となります。



この報告書は再生紙および植物油インクを使用しております